

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25201
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 文学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学			
2. 科目名	高校生のための書道講座					
	学問分野	番 号	15 名 称 芸術 (書道)			
3. 担当教員	増田知之・谷口邦彦・信廣友江 (文学部 書道学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 30 年 8 月 1 日 (水) 10 時 00 分～15 時 40 分					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	40 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>書の基本的な古典にみられる様々な特徴を講師独自の切り口によって取り上げます。各古典の臨書を通して一緒に追究してみましょう。</p> <p>1. 10:00～11:30 「九成宮醴泉銘の楷書美」(講師: 増田知之) 初唐の三大家として名高い欧陽詢の代表作である「九成宮醴泉銘」。本作はまた、「楷法の極則」として中国書法を代表する楷書作品としても知られています。本講座では、その楷書美に迫るとともに、なぜかくも尊崇されてきたのか、本作が誕生した文化史的背景についても触れる予定です。</p> <p>2. 12:30～14:00 「蘭亭序に学ぶ—行書らしさをひも解く—」(講師: 谷口邦彦) 「神龍半印本蘭亭序」は蘭亭序の中でも筆路がわかりやすく、行書手本として好適と言われます。本講座では、表現されたその筆路を細かくたどりながら用筆・運筆の特徴を見つけていきます。さらに臨書を重ね、行書手本としての蘭亭序の価値はどこにあるのか、皆さんと探ってみたいと思います。</p> <p>3. 14:10～15:40 「高野切の世界」(講師: 信廣友江) 高野切は、『古今和歌集』現存最古の写本で、平安時代屈指の仮名作品です。その多くは、室町時代以降、分割され、掛軸や手鑑などに仕立てなおされ、多くの人々に鑑賞されてきました。本講座では高野切第三種の連綿や墨つぎなど、その技法の特徴に迫ります。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ ない	<p>① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定</p> <p>② 不許可・不開講通知日 (7月15日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月16日(土)以降の開講科目は6月末まで)</p>					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 男子も受講可能です。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。